



ありがとう！

全国から160人の青年が出会い・つながり

第13回 ネットワークミーティングin名古屋

2007年9月15日・16日、第13回ネットワークミーティング(NWM)がはじめて名古屋教区で開催されました。全国14教区から158人とこれまでで最大規模となった今回のNWM。今回、NWMの参加者の皆さんに、「一番強く印象を受けたのは、名古屋の実行委員会スタッフの意気込みとチームワークだった」という声をたくさん頂きました。そこで今回は、NWM名古屋実行委員会の立ち上げから本番まで取り組んできた汗と涙の結晶(笑)の1年間を振り返り、皆様にご紹介したいと思います。

26名の名古屋名物たち

06年9月の大阪で行われた青年連絡協議会で次々回(第13回)のNWMが名古屋教区での開催が決まり、早速準備に向けて名古屋教区青少年委員会での企画準備のために実行委員会スタッフを募集。翌月10月には第1回実行委員会を開催しました。

今回スタッフとして、WYDケルン大会に参加した青年たち、そして名古屋教区青少年委員会を中心として、なんと26名ものスタッフが集まってくれました。スタッフみんな色々な個性を持った、例えて言うならば「味噌カツ」や「ひつまぶし」などの名古屋名

物みたいに濃い青年たちでした(笑)

初回の実行委員会では、今回のNWM名古屋にける想いを語り合い、その中で「名古屋教区の青年、全国の青年とつながりを持ちきずなを深めることができるように...」というメンバーの想いをひとつにし、この想いは、実行委員会を進めていく中で、私たちがその目標を見失うことなく歩んでいけるようにと、1年間毎回の実行委員会の始めと終わりにみんなで祈りながら準備がはじまって行きました。

NWM名古屋のコンセプト

そういった中で、今回の開催場所、

テーマが決まっていきました。場所については、名古屋教区では馴染み深い、神言修道会の多治見修道院内にあるログハウスの研修センター。日本の三大男子修道院の一つで、敷地内にはブドウ畑もあり、ワインも醸造している、名古屋教区をアピールするにはもってこいの場所。

そこから生まれたテーマは、『ぶどうの木』。聖書のシンボルと、多治見修道院に実際に実るぶどう畑をリンクさせる意図があります。キリストと自分たち、皆さんとのつながりへと意図させた今回の名古屋スタッフの想いがマッチした素敵なテーマに決まりました。

こだわりプロジェクトチーム
そして今回の26名もの名古屋スタッフのチームワークの決め手となったのが、各プロジェクトチームといっても良いでしょう。

全員で同じプログラムの内容について話し合うのではなく、各セッションに分けて、そのチームで責任を持って企画を進めていき、月1回の実行委員会で報告、意見を聞き合いながら、全体を調整していきました。

スタンプラリー、テゼの祈り、分かち合いとメインとなる3つのプログラム班、なごやかレンジャーなど場の雰囲気や和ませてくれたオリエンテーション班、公式ブログなど情報発信をしてくれた広報班、本番当日だけでなくPR教会訪問などで着用するためにロゴ入りポロシャツとTシャツを製作してくれたユニホーム班、テーマに沿っ

た素晴らしい曲を製作してくれたテーマソング班、160名もの参加者に名古屋メシを提供してくれた食事班、ミサやテゼなどの典礼をプロデュースしてくれた典礼班、そして各セッションの状況の把握を通して、全体の方向性を調整してくれた総務班などなど。

平日などにも各々セッションで打ち合わせの場を設けたり、セッションによっては泊りがけで準備をするなど、協力し合い、励まし合い、スタッフが得意な各持ち場で準備をすすめてくれました。正直スタッフのこの凝り様は予想以上でしたが、今回のNWMの様々なこだわりはここから生まれていきました。

NWMを名古屋教区内にPR
まだまだ名古屋では認知が低かったNWM。このまとと無いチャンスに、

名古屋教区の多くの青年に、また青年に限らず1人で多くの信徒の皆さんに、NWMという集まりや、名古屋の青年たちが頑張っている姿を見て、知ってもらいたいという願いを実現するために、4月から4ヶ月かけて隔週で3つのグループに分かれて、名古屋教区の各小教区へ訪問し、ミサのお知らせの時間などで紹介させて頂いたり、ミサ後にピラを配ったりとPR活動をしていきました。その成果は、名古屋教区内からスタッフ以外にNWMに30名もの参加者によっても示されました。

今回NWMを通して、これからの名古屋教区の青年活動がより良いものになることを目標に、私たちは1年間こうして準備の過程を大切にしていきました。

きっとこの想いはこれから大きく実ってくれることでしょう…。



第1回実行委員会のミーティング
NWM構兵で次回名古屋のPR



NWMのPR教会訪問(布世教会)
教会訪問で案内のピラでPR(瀬戸教会)



金沢-福井へも教会訪問、金沢教会の青年たちとの交流会
NWM名古屋名物スタッフたち



『ネットワークミーティング名古屋を終えて』

今回のNWMが名古屋での開催が決まってから1年間、先にも書いたとおり私たちは準備の過程を大切にしていきました。今までこれほど大きい規模の企画の経験がほとんどなかった私たちにとっては、決して平坦な過程ではありませんでした。ただこの1年間はスタッフみんながNWMに無我夢中でした。“いかに全国の皆さんが集まって楽しんでもらえる、新たな出逢いと今まで以上の交流できる場を提供できるか”をスタッフみんなが考えて取り組んでくれました。怒って、泣いて、苦しくて、笑い合ったこの1年。本当に思い出に残る楽しい1年間でした。みんなで築いてきたこの出会いとつながりは、NWMで参加者の皆さんに大きな反響を頂き、私たちの次につながる大きな実りへととなりました。

実行委員会を代表して、このネットワークミーティングの開催を快く応援していただきました、カトリック青年連絡協議会、そして全国の皆さんにこの場をお借りして心より御礼申し上げます。今回、準備から本番までに出逢ったすべての皆さんと共に、イエス様の枝となって、さらにたくさんの実を結ぶことが出来ますように、さらにこれからもご支援、ご協力を宜しくお願いいたします！

名古屋教区の私たちの活動がこれからどんなふうに展開していくのか楽しみです…。

第13回ネットワークミーティング名古屋
実行委員長 片岡 義博

Network Meeting ALBUM

07.09.15 - 09.16



カトリック新聞

カトリック新聞社
〒125-8505 東京都港区南青山2-4-25
電話 (03) 5622-4332 (代表)
03) 5622-4333 (編集)
03) 5622-4334 (広告)
FAX 03) 5622-7930
編集 03) 5622-7931
Eメール kcn@ccp-jpn.com
http://www.ccp-jpn.com
URL http://www.ccp-jpn.com/
カトリック新聞社 2007
印刷 1部 1207(1本紙 1507)
印刷 4部 4部 (1部)
〒108-8341 東京都港区有明4-2-2
〒108-8341 東京都港区有明4-2-2

ネットワークミーティング

参加者過去最多に 各地の青年に影響与える

名古屋教区

「自己カトリックの青年が活動の場を求め、純粋な心で、自らが発見した活動の場を求め、ネットワークミーティング(NWM)が九月二十五日、岐阜県・多治見市多治見大教会多治見ホールで開かれ、今年も過去最多の参加者で、約五百八十人から開かれた。



教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語る多治見教区の参加者に拍手

今回のミーティングは、多治見市多治見大教会の多治見ホールで開かれ、約五百八十人から開かれた。参加者は、多治見教区、岐阜教区、愛知教区、名古屋教区、そして近隣の教区から集まった。ミーティングは、多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送った。

北陸教区に於いては、前回は約四百名、今年も約五百名と、参加者が増えた。多治見教区からは、約二百名、岐阜教区からは約八十名、愛知教区からは約五十名、名古屋教区からは約三十名、近隣の教区からは約五十名が参加した。

多治見教区からは、約二百名、岐阜教区からは約八十名、愛知教区からは約五十名、名古屋教区からは約三十名、近隣の教区からは約五十名が参加した。ミーティングは、多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送った。



多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送る

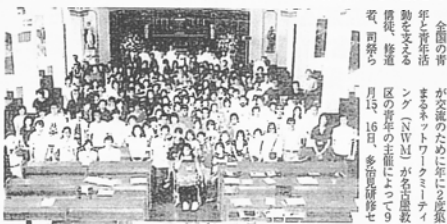
2007年10月
「折初の使徒」意向
一 聖書
二 聖書
三 聖書
四 聖書
五 聖書
六 聖書
七 聖書
八 聖書
九 聖書
十 聖書
十一 聖書
十二 聖書
十三 聖書
十四 聖書
十五 聖書
十六 聖書
十七 聖書
十八 聖書
十九 聖書
二十 聖書

(1) 2007年11月4日(日曜日)

名古屋教区ニュース

(260号)

全国から160人の青年が社会いっしょなかり ネットワークミーティング名古屋 多治見で



全国から160人の青年が社会いっしょなかりネットワークミーティング名古屋 多治見で

今年も過去最多の参加者で、約五百八十人から開かれた。参加者は、多治見教区、岐阜教区、愛知教区、名古屋教区、そして近隣の教区から集まった。ミーティングは、多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送った。

名古屋教区ニュース

2007年11月
第260号

NWM名古屋開催の報告と御礼

NWM名古屋実行委員会 委員長 片岡義博

9月25日、16日、多治見市多治見大教会多治見ホールで開かれたネットワークミーティング(NWM)が、名古屋教区、岐阜教区、愛知教区、そして近隣の教区から集まった約五百八十人の参加者で、過去最多の参加者で開かれた。



実行委員会を代表して、多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送る

今回のミーティングは、多治見市多治見大教会の多治見ホールで開かれ、約五百八十人から開かれた。参加者は、多治見教区、岐阜教区、愛知教区、名古屋教区、そして近隣の教区から集まった。ミーティングは、多治見教区の青年活動を「頑張っていきなれ」と語り、参加者に拍手を送った。